

人・産業・地域を結び、 新たな時代を生き抜く 力強い長崎県づくり

長崎県知事
中村法道



新しい「長崎県総合計画」のスタートの年を迎えるに当たり、
県政のかじ取りを行っている中村知事に、今の思いを聞きました。

2020年、印象に残った 出来事は？

昨年も災害の多い年で、7月豪雨や台風9号、10号など、県内でも多くの被害が発生しました。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。県としても、災害で生じた課題を検証し、ハード・ソフト両面にわたる防災・減災対策に生かしていきたいと考えています。県民の皆様には、日頃から災害への備えを行っていただきますようお願いいたします。

そして何と云っても、新型コロナウイルス感染症が大きな問題となりました。本県では、昨年3月に初めての感染者が確認されましたが、全国的な感染拡大を受け、4月には国による緊急事態宣言が発令され、県民の皆様にも休業や外出自粛などのご協力をいただきました。今後とも感染防止対策を講じつつ、社会経済活動の回復・拡大に向けた対策も推進していくこと

が重要であると考えており、新しい働き方に対応した環境整備にも力を注いでまいります。

2021年の抱負を 教えてください

今年は県政150周年の記念すべき年に当たります。そして、今後5年間の県の政策の方向性を示す新しい総合計画がスタートする年でもあります。

本県を取り巻く環境は、人口減少や、全国より速いスピードで進む少子高齢化、そして新型コロナウイルス感染症による影響などさまざまな課題があり、引き続き厳しい状況にあります。

しかしその一方で、新幹線の開業やIRの誘致などさまざまなプロジェクトやまちづくりの進展によって、「まち」の佇まいが大きく変わろうとしています。また、産業面でも新たな動きが生じており、こうした「100年に1度」ともいえるべき大きな変化をチャンスとして生かしていかなければならないと考えております。

3 希望のあるまちを創り、 明日へつなぐ

九州新幹線西九州ルート^①の長崎、武雄温泉間の開業時期が「令和4年秋頃」との見通しが示されました。県民の皆様と共に開業に向けた気運を高め、その効果を県内全域に波及させるよう、地域の魅力づくりに力を入れてまいります。新鳥栖、武雄温泉間については、国土交通省と佐賀県との間で協議が行われておりますが、引き続き関係の皆様と連携を図りながら、全線フル規格による整備の早期実現を目指して、全力を注いでまいります。

IR（特定複合観光施設）は、実現すると国内外からの新たな人の流れが生まれ、本県のみならず九州の観光振興や経済の活性化にも大きく寄与し、わが国の発展にも貢献できるものと考えております。今年、IR事業者を夏頃までに選定し、事業者と共に国へ申請する区域整備計画を作成するなど非常に重要な1年となりますので、九州各県や経済団体などと一層の連携を図りながら、九州・長崎IRの実現に全力を注いでまいります。

県民の皆さんへメッセージを お願いします

県民の皆様と意思を一つにして、新しい長崎県づくりにチャレンジしていきたいと考えておりますので、引き続きご理解とご支援をお願いいたします。

今年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

新しい総合計画の 基本的な考え方は？

まず、人・産業・地域がそれぞれの役割をしっかりと果たし、相互に連携・協働しながらさまざまな課題を克服し、チャンスを実に地域の活性化に結び付けていきたいと考えております。

その一つとして「Society5.0の実現」に向けた施策も盛り込んでいます。ICTの活用による生産性の向上や新産業・新サービスの創出を図るとともに、ビッグデータなどの分析や活用による施策の深化を図り、地域や産業の活性化を目指してまいります。具体的には、人・産業・地域ごとに定めた3つの柱に沿って施策を展開してまいります。

1 人材を育て、未来を切り拓く

本県では、若者の県外流出が課題となつていますが、高校生の県内就職対策では、キャリアサポートスタッフによるきめ細かな支援を継続してまいります。また、大学生については、就職未内定学生のサポート強化や、各大学と個別に連携協定を締結し、学部などの特性に応じた対策に、大学と一体となつて取り組んでまいります。

2 産業を育て、つばを生ま出す

産業分野でも新たな動きが生まれ、産業構造が大きく変わろうとしています。AI・IoT・ロボット、航空機、海洋エネルギーの三分野を次なる基幹産業として位置づけ、各分野の拠点形成と雇用の拡大に取り組んでいるところです。

※詳しくは6ページからの特集をご覧ください

県内の動き



U・Iターンした先輩移住者が出演する移住PR動画が人気を集めている
詳しくは「長崎リア住放送局」で検索



既に開業した在来線の駅舎に引き続き、新幹線の駅舎が建設中の長崎駅(右)周辺ではMICE施設などの整備も進む